

夏季物品販売の成功がちとろう

日刊
動労千葉

1988.3.22
No. 2781

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二・二二七二〇七

冬季販売のご協力ありがとうございました。

昨年十一月から開始した冬季物品販売は一月末で終了しましたが、全国の仲間の皆様をはじめ、組合員・家族会の皆様にはご支援ご協力いただき、ありがとうございます。おかげさまで無事二年目の冬をのりまることができ、動労千葉の財政基盤確立にとっても大きな前進をかちとることができました。

はじめての在籍者から
△全国オルグへ

今回の全国オルグは、はじめて各支部の組合員にもオルグ団として奮起してもらいましたが、年休・公休で元気に頑張りぬいてきた各支部・組合員の皆さまにあらためて感謝します。

「分割・民営化」攻撃はたたかう動労千葉・国労をつぶし、不屈の労働者を国鉄職場から一掃するという攻撃です。だから全国各地どこへ行っても、労働者は首をかくてたたかぬく動労千葉に心うたれ、支援の行動にたっつけてくれるのです。

労働運動の全労連への右翼「統一」攻撃が激しくなるなかで、しかし職場で敵の攻撃をうち返して不屈に頑張る労働組合は全国にたくさん存在している。

動労西日本の仲間からのお手紙

ありがとう 全国の仲間たち

十一月中旬だというのに、山間部では朝夕の冷えこみが手足に伝わってくる。地図で見ると、馬の背のように中国山脈がのびている。動労西日本が結成されて、今冬がはじめての物販の取り組みだが、海沿いから山間へと、早朝から深夜までまるで「旅回り道中」だった。一週間の間に、各地方の労働者がスケジュールを組んでくれて、職場、組合事務所、交流会場へと次々と案内され、まるで息つく間もない。しかし、暖かいはげましの言葉が寄せられる度に疲れもふっとびます。私はこの熱気を早く動労千葉の仲間へ伝えたいという思いにいっぱいになりました。

全国オルグ団 募集中!
北海道から九州まで
全国を駆けめぐろう

<お知らせ>
夏季の物品選定中
協販部は今、夏季物販の品物を選定しています。皆さんの御意見を取り入れたいと考えています。見本が本部にありますので、ぜひ一度御覧ください。

ます。物販のオルグ団はそうしたたたかう労働者との大合流をつくりだしつつあります。「右翼化攻撃の元凶は日の丸労働運動の革マル鉄道労連だ。負けるな」どこに行っても、労働者の言葉は同じです。

△全国から届く手紙に激励されて

二年間の物品販売運動の中で、もうひとつ貴重な経験をつんできました。それは各地で先頭となり物販をとりくんでいる労組や各地区の担当者の苦勞と苦闘があつてはじめて動労千葉の物販運動がなりたっているということです。

担当者からの手紙が届くと、その中には動労千葉への熱い連帯の言葉と厳しい苦言が届けられます。私たちは、はげましとおしかりの一言一言をしっかりと聞きしめ、糧として前進していかなければいけないと胸に決意を固めざるをえません。

日中物品販売への協力力を

全国の仲間の激励をうけ、協販部はこれまでよりもよりよい商品をと全力で選定、準備に入っています。夏季物販の全国オルグは四月下旬からはじまりますが、各支部・組合員には冬以上の奮起をお願いします。二月から四月末まで日常販売を行っていますので、ぜひご協力をお願いいたします。

3.27 三里塚へ
全労連集を